

10月1日から郵便料金が値上げされ、封書110円、はがき85円となって手紙を100円では出せなくなります。ますます郵便離れが加速し切手収集家が減少する懸念が高まるというのに、日本郵趣協会が値上げ反対の声を挙げないのは一体どういうことでしょうか？

それはともかく、慈善団体等が集めている紙付切手（キロボックス）という品物があります。よく買う人に聞くと、使用済切手の中にけっこうな量の消印モレの切手が混じっているそうです。約10kgの未整理紙付切手の中には額面1万円前後の消印モレの切手が入っているのだとか。これらは再使用が可能で、このことを見越して紙付切手を買う人も多いとのこと。全国では相当数の切手を使用されているので消印モレの総量は莫大なものになるでしょう。考えてみれば、その分郵便がタダになっているのです！こんなバカなことはありません。これでは郵便が赤字になるのも必然です。

配達局では消印モレ消印というオモチャのようなスタンプで対応していますが、消印モレの切手にはチェックを厳密にして、しっかりした日付入消印を配達前に押して郵便料金の取りはぐれを防ぎ収益を確保するという職員の意識と作業手順の改革が必要です。

（記：藤岡 靖朝



（日本郵楽会会員）